

【テーマ】「出席管理」

【主催】事務システム分科会・Campusmate勉強会

活動報告

日時：2019年12月23日（月）13：30～17：00
場所：富士通ソリューションスクエア S棟3階 プレゼンテーションルーム1
出席者：65名

1. 研究内容

大学では、さまざまな場面で講義における出席状況の正確な把握を求められています。そこで今回「出席管理」をテーマとし、各大学で抱える課題を共有しました。また、教職員の負担を軽減し、出席データを守り、管理するためには、どのような方法がとれるのか、意見交換し検討しました。

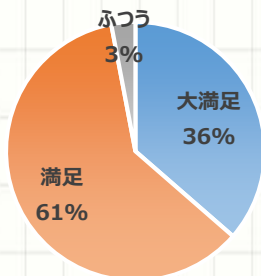
2. スケジュール

13:30～13:40	全体会（事務連絡）
13:40～13:55	出席管理 製品を選ぶポイント 富士通株式会社 文教・地域ソリューション事業本部 第一ソリューション事業部 第一ソリューション部 部長 中村 直樹 氏
13:55～14:40	事例紹介 ・芝浦工業大学 情報システム部 情報システム課 松田 浩司 氏 ・千葉工業大学 入試広報部 入試広報課 担当課長 高沼 憲昭 氏
14:40～14:55	名刺交換・休憩
14:55～16:50	意見交換・発表
16:50～17:00	まとめ
17:00	終了

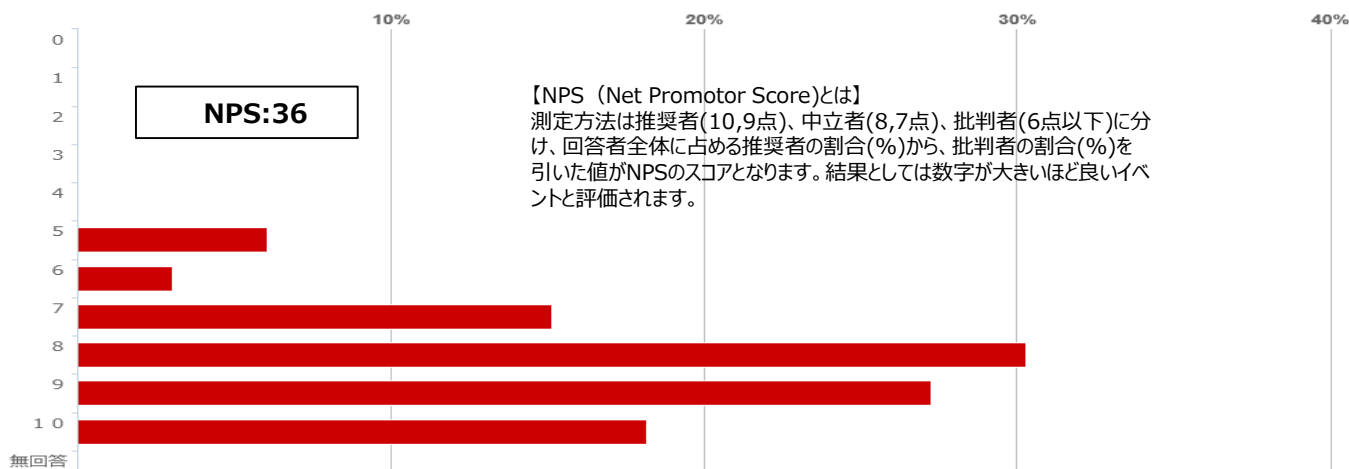


3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすめしない) ～10(おすすめしたい)



■ NPSの点を付けた理由を具体的にお書きください

NPSの回答

✓ 他大学との交流・情報交換含め、勉強になるということを伝えていきたいから	9
✓ ディスカッションの時間が長く、たくさんの議論ができてよかった	10
✓ 同じ問題点をかかえる立場で意見交換ができた	8
✓ もっと最近のソリューションの情報を得られればよかったと思った	6
✓ 出席管理は基本的なテーマであり、全職員が考えるべき	9
✓ 他大の情報は、非常に参考になる	8
✓ 他大学の事例を聞くチャンスを得られる	9
✓ 出席管理に関する各大学の考えや悩みを聞くことができた	8
✓ 大変参考になる事例紹介があったため	9
✓ 密度の濃いディスカッションができ、有意義な時間を過ごすことができたため	8
✓ 他大の方とコミュニケーションを取る良い機会であるから	7
✓ 他大の方の意見をうかがう機会はなかなかないので...	7
✓ 他大学の方と情報交換でき、参考になりました	8
✓ 出席システムについて他大学の情報を共有できた	9
✓ 活発な意見交換がなされた	8
✓ 大学事務としてはかなり限られた内容の研修であるから	7
✓ 情報収集できる点が良いと思いました	10
✓ 取り組み内容は、どの大学も違うため	10
✓ 検討中のシステムについて導入後のトラブル等を聞くことができた	9
✓ みんな悩みがあるテーマだが、みんなが解決のヒントをえられたか不明	7
✓ 他大職員様と議論ができる	9
✓ 他大学様の課題を聞く事ができたので、他の職員にすすめたい	10
✓ 導入事例は特に参考になる	7
✓ 新しい参加大学の方と交流できた	9
✓ 他大学のとりくみ情報を聞くことができるから	10
✓ 出席管理システムについて勉強になりました	10

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ 学内で見つけられていなかった課題が判明してよかった
- ✓ 千葉工大他、色々な大学の事例が知れてよかったです
- ✓ 富士通さんの考える100%の出欠システムをぜひ作っていただきたいです
- ✓ 他大学での情報収集ができ、次期サービス（ビーコン）の検討材料となった
- ✓ 学内のコンセンサスの必要性
- ✓ F社発表の顔認証の可能性と課題についてもっと知りたい
- ✓ ビーコンやスマホの導入事例を詳しく聞けた
- ✓ 他大では職員の方が本学よりも出席管理に関わっていると思いました
- ✓ ビーコンについて
- ✓ ビーコンの活用についてメリットデメリットを知ることができた
- ✓ システム運用面について、欲張りすぎていると感じた
- ✓ 本学の課題を解決されている事例を伺うことが出来ました
- ✓ 学内の同意（教員も）を得る必要があるのかどうか
- ✓ 成績と出欠の他大学の考え方を知れた
- ✓ 導入目的を明確にし、教育・学生に説明することが大切
- ✓ 他大学での運用状況を知ることができた。本学では出席状況の学生及び保護者への開示ができず、その為のヒントがいまいち得られなかった
- ✓ 出欠管理についての方策について良い情報入手できました
- ✓ ICカード以外の出席管理システムの導入
- ✓ 様々な大学で出席データ100%とらなくてもいいという認識であったこと

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ campus webシステムへの要望を言い合う場（営業さんには耳が痛い）
- ✓ 授業アンケート
- ✓ BYODに関する分科会があれば参加したいと存じます
- ✓ 各大学システムの理想の分掌部署
- ✓ 学生カルテ
- ✓ 離学者対策
- ✓ 学生ポータル活用
- ✓ 学修時間の確保（予復習の時間、内容を管理）
- ✓ ポートフォリオ、再度出席管理
- ✓ Edurome
- ✓ 授業アンケート（FD）

4. 参加校 [18校32名] ・参加企業[4社33名] ・参加総数[65名]

亜細亜大学[2]
学校法人常翔学園[1]
神田外語大学[2]
共立女子大学[1]
産業能率大学[4]
芝浦工業大学[2]

成蹊大学[5]
清泉女子大学[1]
千葉工業大学[1]
大阪産業大学[3]
大東文化大学[1]
東海大学[3]

東京農業大学[1]
東洋学園大学[1]
日本薬科大学[1]
名城大学[1]
立正大学[1]
流通経済大学[1]

大興電子通信株式会社[1]
テクノシステム株式会社[1]
富士電機ITソリューション株式会社[1]
富士通株式会社[30]

5. 所感

「出席管理」をテーマに、導入・運用事例等の報告を伺い、各大学で情報交換をおこなった。事例紹介では、次の2大学より紹介をいただいた。芝浦工業大学は、2006年に出席管理システムを導入。同年に開校した豊洲キャンパスを皮切りに順次カードリーダーを設置。2014年運用上の問題、課題の解消に向け、出席管理システムを大幅更改。2017年～ 学生ポータル/LMSシステム（Scomb）を導入。学生ポータルでの出席情報の公開を開始している。（2019年度より保護者にも同システムで公開）現在の学内システムの構成、ポータルサイトでの出席確認イメージについて説明をいただいた。

千葉工業大学は、ビーコンによる出席管理システムを導入している大学である。全学生貸与のiPadを活用し出席システムアプリによる仕組みを構築している。新入生ガイダンス時には、学生は出席システムアプリの始動をおこない使用方法やシステムで出席がとれない場合の運用について説明を受けている。課題としては、iPadを利用するためアプリのインストールやiOSアップデートにアプリが対応するか確認作業に時間を要する、学生のiPad忘れ、充電切れ、打刻忘れ等による修正などが発生するとのことであったが、最初から完璧を目指すのは現実的ではなく、導入前に出席管理の目的（不正防止、導入コスト、簡便性、確実性など）を明確にして進めることが重要であるとのこと、大変参考になった。後半はグループにわかれて意見交換をおこなった。出席管理の目的、問題・課題、理想の出席管理について検討した。今回、このような先事例を伺うことができ、各大学の出席管理の状況について共有をする貴重な機会となったと思う。

（事務局 富士通 文教ビジネス推進統括部 ビジネス企画部 池谷）